

第7期第4回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和2年12月14日（月） 午後1時30分～午後3時30分
場 所： 新潟市石山地区公民館 4階 ホール
出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会 石井委員、井上委員、遠見委員、高橋委員、津野委員、野本委員、藤井委員、村山委員、安原委員、八幡委員、
事務局： 中地区公民館長佐藤、石山地区公民館長関口、中地区公民館田中、石山地区公民館小野

1 開会

中地区公民館長あいさつ

中地区公民館運営審議会議長あいさつ

2 議事

(1) 令和元年度事業評価シートの委員意見について

- (事務局) 令和元年度事業評価シートに関する運営審議会委員意見の集約案を説明。
- (遠見委員) 委員になって4年目だが、防災教育など当初より小・中学校と関わる内容が増えてきて、評価している。
- (高橋委員) 集約できている。案のとおりで良い。
- (八幡委員) 集約案のとおりで良い。中地区公民館の地域に密着した事業を毎回評価している。石山地区公民館は事業が多く、リニューアルしているところを評価している。木戸公民館は事業が次につながらない様子なので、アンケート等の実施が大事だと思う。
- (藤井委員) 集約案のとおりで良い。公民館の基本施策「家庭における教育力向上の支援」について、中地区公民館・石山地区公民館も良い。学校教育に携わっていると、児童生徒への指導は教職員の責任だが、家庭の保護者には立ち入れない。したがって、地域やいろいろな機関と連携するしかない。公民館のような公の場で繋がりが生まれ、虐待が減ると良い。しかし、参加者から申し込まなければ講座に参加できないため、申し込みができない家庭へのアプローチをできる範囲でいいのでお願いしたい。インターネットでの申し込みができることは良い。このような形で家庭の教育力向上を支援する事業を充実させて欲しい。
- (野本委員) 集約案のとおりで良い。木戸公民館については、活動は継続すべきと思うが、建物の老朽化問題について、区切りを付けないといけないのではないかと感じる。
- (安原議長) 中地区公民館は学校との連携が強いと感じた。公民館を利用している洋裁のサークルが小学校に行って子ども達のためにマスクを作った活動を聞き、緻密な対応だと感じた。石山地区公民館はいろいろな事業が展開されている。今年度はコロナで少し無理かもしれないが、来年度以降また頑張ってもらいたい。
- (津野副議長) 集約案のとおりで良い。木戸公民館の老朽化で安全性が心配である。利用者の意見を聴取した上で活動が続けられるような形をとって欲しい。
- (安原議長) 集約案のとおりでよろしいか。
- (委員) 了承

(2) 令和2年度事業の中間報告について

- (事務局) 令和2年度事業実施状況(11月15日現在までの中間報告)を説明。
- (井上委員)
(事務局) 今年度、木戸公民館の事業は中止となったが、今後続けるのか。中止となった「三世代交流音楽芸能祭」は学校やたくさんの団体が参加する地域性がある良い事業である。今年度は中止となったが、来年度以降も実行委員会の後押しをしていきたい。
- (遠見委員) コロナ感染拡大予防のための事業の中止はやむを得ない。中地区公民館は、東区歴史浪漫講座など、地域学の会との共催事業を実施しており、定員を超える申し込みがあるなど好評だった様子。大人だけでなく、小学生中学生も参加できる形で実施してほしい。
- (高橋委員) 子育てサロンのボランティアスタッフの表記を統一してはどうか。
- (事務局) 了承。
- (八幡委員)
(村山委員) 中地区公民館は地域との共催事業に力を入れていると感じる。中地区公民館はコミ協との連携の活動が活発になり、公民館から遠い地区にも活動が広がった。下山郷土史研究会は令和元年の暮に発足したが、東区歴史浪漫講座という大きな事業への協力を相談された。東区地域課とも連携し、問題なく事業を実施できた。このような形で各地区の活動が活発になると良い。石山地区公民館の女性限定防災セミナーについて、女性は避難所運営や防災関係で特に考えなければならないこともあると思う。中地区公民館も取り入れてみてはどうかと思う。
- (藤井委員) SNSとの付き合い方について事業提案をしたが、中地区・石山地区公民館で人権講座などに取り入れてもらった。拡充してほしい。SNSには健康被害・人権という課題があるが、切り口はどちらでも良いと思う。学校教育で1月から全児童生徒にタブレット端末が学校に配布される。端末使用が当たり前になるので、依存症などの健康被害・SNSでの人権侵害についての啓発活動も、今後の現代的課題になる。検討・拡充をお願いしたい。
- (野本委員) 社会に多様性が求められており、公民館事業も多種多様であり、魅力があったのだろうと感じる。人数の多い少ないだけではない部分があると思う。石山で中止となった事業はコロナの影響だろうが、対策をすれば実施できるのか、活動自体が感染可能性から困難なのか、知りたい。来年度の企画等で制約があるのなら、皆で考えることもできる。
- (事務局) 新しい生活様式に沿って定めた事業実施ガイドラインの策定前に事業の中止を決定したものもある。策定後はガイドラインに沿って感染症対策をしながら事業を実施している。
- (安原議長) 石山の「心に響く冬のコンサート」が中止となったが、出演者の練習意欲のためにも、出演者だけで実施する等、見方を変えて実施して欲しい。広報しなくても、友達や関係者だけで実施する等考えて欲しい。
- (津野副議長) ガイドラインができて事業が実施できて良かった。中地区公民館は、山の下中学校区だけでなく、他のコミ協との共

催事業が広がったことを評価したい。東区歴史浪漫講座では、たくさんの方が協力し、地域のことを知ってもらう良い機会になった。郷土史を知る機会となり、良かった。郷土史の講座をしたことで、興味を持っている人がいること、郷土の歴史がまだまだたくさんあることが分かった。ひいては東区の良いところの PR になると考えるので順次いろいろな地区の歴史などを掘り起こしてほしい。

自分自身は今年度から人権擁護委員に就任した。石山地区公民館の SNS についての人権講座に参加したが、堅苦しくなく分かりやすかった。参加者の年齢層も幅広かった。SNS については学校で指導や学習機会がある。しかし、あらゆる層が SNS を利用するので、対象を絞らず、幅広い層に実施して欲しい。

石山の幼児期家庭教育学級で、オンラインでの講座配信を試みたそうだが、コロナの感染リスクが心配で行きたくない人もいる。可能であればオンラインでの講座の企画も良い。

(石井委員) 東区歴史浪漫講座の詳細なアンケート集計を見た。事業を事後点検し、生きた声を審議会に届けてもらおうと委員も意見を言いやすい。各事業でアンケートをとり、見せてもらえると良い。

(3) 令和3年度予算の策定状況について

(事務局) 令和3年度予算案について未定である旨を説明。

(委員) 質問なし

(4) 令和3年度事業に関する委員提案について

(安原議長) 提案理由を含めて各委員から説明願います。

(石井委員) 子どものための手話教室を提案した。自分自身、手話の入門講座に通っている。小さい頃から一つのコミュニケーションの手段として共有できると良い。障がいのある人もない人もそれぞれがコミュニケーションを大切にする、そんな社会教育ができれば良い。

(井上委員) 子どもの人権について、日頃から考えている。DV を救えるシステムというものを、公民館活動の中で、楽しく参加しやすく、親だけでも、子連れでも話ができる活動があると良いと思っている。

(遠見委員) 公民館は徒歩で行ける場所が理想である。木戸公民館の大切さを以前からお話ししてきたところである。今後については行政のスタンスにもよると考える。

令和5年度から中学校の部活動を学校は実施せず、地域で実施することになる。公民館の役割も出てくるのではないかと考える。中学生向けの事業と中学校の掲示板で募集する等の工夫が必要と考える。中学生が通える公民館施設の確保が、健全な青少年の育成・生きる力を地域で養うためにも必要と考える。

(高橋委員) 委員提案を記入したときはコロナのことしか考えられなかった。防災にコロナ対策という観点と、新しい生活様式をエコにできる方法がないかという観点での事業提案をした。今年度の防災教育の中で、コロナ対策の視点も盛り込んでいただき、満足している。

(八幡委員) 子どものカッキングを提案した。大人は自分の興味があるものは住所から遠くても参加できるが、子どもは困難である。料理したものを食べることは楽しいし、調理室の稼働率を上げるためにも提案したものである。しかしコロナ対策を考えると、今は飲食を伴う事業は困難だと理解している。

- 遠見委員の発言にあったが、中学生向けの公民館事業等を中学校の掲示板でPRすることも良いと考える。
- (村山委員) 東区歴史浪漫講座をやってみて、歴史は大事であるとの思いを強くした。各地区でも歴史の学習会はある。しかし、地元の歴史は地元の人でも知らないこともあるし、他の地区の人にとっては更に新鮮と考える。
提案の一つ目は、4つの歴史の会はバラバラだが、連携するといろんなことができるため、交流会を設けて欲しい。
二つ目は、東区歴史浪漫講座を、歴史の会の持ち回りで実施して欲しいという意見を東区地域課に届けて欲しい。三つ目に、最終的には東区歴史ボランティアガイドを養成し、区のPRにつながると良い。
- (藤井委員) 高齢者でもスマホを持っている。ICTについて、楽しく使える、しかし危険性もある、と一般向けの講座も提案する。
- (野本委員) Zoom活用教室を提案する。単にZoomの使い方をきましょう、ということではなく、SNSとの付き合い方等インターネット社会の楽しさと危険性を学ぶ事業の提案である。小中学生も当たり前のようにインターネットを利用できる時代だが、大人と違い、直接、人間とのふれあいの経験が少ないため、ネットを通じて知り合った相手との間に事件が起きている報道もあるため。情報リテラシーを周知できる活動を提案する。
- (安原議長) 歴史発掘「わが町の古代史を知ろう」を提案する。令和2年度の東区歴史浪漫講座「東区の土地の成り立ちと古代遺跡」で実施した内容が、まさにこれである。
- (津野副議長) 「家でもできる運動や趣味づくり」を提案する。家に居ながら、道具がなくてもできる運動をいくつか紹介し、健康づくりに役立つ事業を提案する。集まらない時でもやれることを学ぶ機会があると良い。
- (安原議長) けん玉も良い。
- (津野副議長) けん玉やコマ回しといった昔遊びを地域や学校で発揮してくれる人が増えるとありがたい。
- (事務局) 令和3年度事業に関する委員提案について公民館の考えを説明。

3 その他

- (事務局) (1) 運営審議会正副議長会議について
中央公民館に確認したところ、現時点で開催の予定はない。

4 閉会

【配布資料】

- 第7期第4回中地区公民館運営審議会 会議次第（事前配布）
令和元年度事業評価コメント記入シートに関する運営審議会委員の意見（資料1、事前配布）
令和2年度事業実施状況（中間報告11月15日現在）（資料2-1、2-2、事前配布）
東区公民館令和3年度予算案概要（資料3、事前配布）
令和3年度事業に関する委員提案（資料4、事前配布）
事業チラシ（当日配布）